

バドバレー

6人制バレーボールのルールを準用し、手軽に楽しめるように工夫したもので、バドミントンコートを用いて行うゲームです。

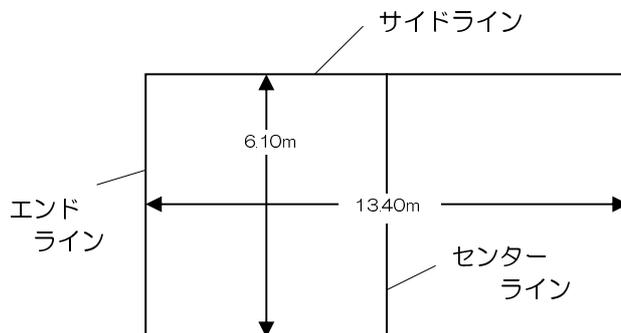
難易度:★★ 人数:8人～

◎ 用具

- ◆ ボール・・・ゴム製（重さが $210\pm 5\text{g}$ 、円周が $78\pm 1\text{cm}$ ）
- ◆ ネット

◎ 場所

コートは $13.40\text{m}\times 6.10\text{m}$ （バドミントンのダブルス・シングルス兼用コートの外側ラインを使用）でコートの外側 2m と床面から上方 7m 以内に物を置かないこと。



◎ 人数

4人対4人のチーム対抗で行う。

ゲームの進め方

<サービス>

まずジャンケンをしてサービス権を決める。サービスは1回。サービスはエンドライン後方のフリーゾーン右半分の位置から、アンダーハンドで打つ。

<アタック・ヒット>

4人の競技者は、どの位置にいるときでも、ボールを打った瞬間、ボールの一部でも味方コート上の空間にあればどのような高さのアタック・ヒットでも打つことができる。

<ブロック>

4人の競技者は、どの位置にいるときでも、相手のアタック・ヒットをブロックすることができる。ブロック後の1回目の接触は、ブロックのときボールに触れた競技者を含み、誰でも許される。

<同時の接触>

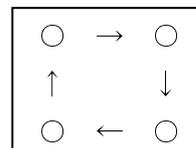
同一チームの2人の競技者が同時にボールに触れたときは、1回触れたものとみなし、いずれも引き続きこのボールに触れることができる。

<パス>

相手チームにボールを返すときは、必ず3回以内で返す。

<ローテーション>

サーブ権を得たチームは、直ちに時計の針と同じ方向へ図のように1つだけ移動する。



<タイムアウト>

各チームはセットごとに2回のタイムアウトを取ることができるが、その時間は1回30秒以内とする。

<選手の交代>

選手の交代は各セット4回以内。

<コート of 交代>

1. 各セットごとにコートを交代するが、最終セットはいずれかのチームが8点になった時点で交代する。

【反則】

次のような場合は反則となり相手チームに得点1点が与えられる。

☆ オーバータイム

ネットを越えて相手コートに打ち返すのに、ボールへの接触が最大限3回を超えたとき。

☆ ホールディング

ボールをつかんだり、明らかにボールが止まるようなプレーをしたとき。

☆ オーバーネット

相手側のコート上のボールに、ネットを越して触れたとき。

☆ タッチネット

競技者がプレー中にネットに触れたとき。ただし相手側の打球により膨らんだネットに触れたときは反則にはならない。

☆ ドリブル

同一競技者が2回続けてボールに触れたとき。

☆ フットフォールト

サービス時にエンドラインに足が触れたり、味方コートに入ったとき。

☆ フットボール

ウエストより下の各部にボールが触れたとき。

☆ パッシング・ザ・センターライン

センターラインを完全に踏み越したとき。

☆ インターフェア

ネット下から相手のプレーを妨害したとき。

☆ サービスフォルト

サービスがネットに触れるか、相手チームの競技者に触れないで相手コートの外に落ちたとき。

【勝敗の決め方】

1 セット 15 点のラリーポイント制。14 対 14 のときはデュースとして 2 点差がつくまで行うが、17 点で打ち切り、17 点先取で勝ち。3 セットマッチで 2 セット先取した方を勝ちとする。